

## 都立高校（高1）研修 ワークショップ グループ発表の内容

### ①「自分ができること」

- ・やさしくする
- ・認知症の人に合わせる
- ・不安にさせない
- ・困っていたら助ける
- ・どんな行動をしても避けたり逃げたりせず、話をしっかり聞いてあげる
- ・公衆電話や交番場所を知っておく
- ・相手にとって一番いい方法を考える
- ・どんなにイライラしても怒らない
- ・名前と住所を聞く
- ・優しく声をかける
- ・真面目に話を聞く
- ・大人に頼る
- ・安心させてあげる
- ・目を見て話す
- ・大きな声ではっきりしゃべる
- ・相手の事を考えて話す
- ・ゆっくり話す
- ・一緒についてゆく
- ・視線をしっかり合わせて話を聞いてあげる
- ・自分が一方的に話すのではなく、相手の話も聞く
- ・笑顔で話す
- ・焦りを表に出さず話す
- ・今日学んだことを周りの人たちにも広める
- ・自分でできる範囲で一緒に行動し、手助けをする。説得する
- ・困っている人を見かけたら、自分から声をかける
- ・積極的に話す
- ・落ち着いて冷静に正しく、受け答えする
- ・持物を聞いて、名前や電話番号の書いてあるものを確認する
- ・否定しない
- ・自分のことを覚えてもらう

### ②仲間と一緒にできること

- ・協力して安心させる
- ・相談する
- ・見て見ぬふりをしない
- ・連携して対応する
- ・分担して対応する
- ・一緒に探す
- ・みんなの考えをあわせてより良い対応をする
- ・誰かひとりが助けを求めに行く
- ・警察に行く
- ・話につき合う
- ・ボランティアに参加する
- ・二人同時に話さない

- ・困った顔をしない
- ・相手のプライドを傷つけないように接する
- ・エスコートしてあげる
- ・仲間と話し合いながら相手の要望に応えられるようにする
- ・認知症の方が集まる施設を訪ねる
- ・集団で怖がらせない
- ・質問をたくさんするなどして、混乱させない

### ③地域でできること

- ・認知症の人への対応を学ぶ
- ・ボランティアに積極的に取り組む
- ・市で放送を流す
- ・ポスターを貼る
- ・事前に近所の人に知ってもらって助けあう
- ・声を掛ける
- ・市役所で迷子の呼びかけ
- ・人任せにしない
- ・地域での行事に参加してもらう
- ・気軽に集まれる場所をつくる（(集会所とか)
- ・老人ホームなどの施設について理解する
- ・訪問して話を聞いてあげる
- ・小学生がゴミの日などに家に行って声をかける
- ・いろいろな人に協力してもらう
- ・たくさんの人で助ける
- ・面倒くさがらず何回も何回も同じことでも聞いてあげる
- ・安心して暮らせる地域をつくる
- ・地図を作る
- ・皆で見守る
- ・触れあい方を理解する
- ・体験する場を設ける
- ・交流する機会を設け、理解を深める
- ・一人一人の住んでいるところをみんなで知る
- ・あいさつや会話をしてあげる
- ・家に行き、一人の時間を少なくする
- ・見かけたら声をかける
- ・認知症についての掲示物をつくる
- ・認知症でも住みやすい町をつくる